第49回
現代美術ー茨木2022展

メタ // コンセプチュアル

現代における新しい表現を模索する作品を、
アンデパンダン（無審査）の「公募部門」と
実行委員会選出の「特集作家部門」で展示します。

［特集作家］
葛本 康彰、田中 加織、安枝 知美、わにぶち みき

展示会期｜2022年6月6日（月）～6月12日（日）
（ただし、7日（火）は休館）
午前10時～午後7時
（最終日は午後5時まで）

特集作家アーティストトーク
日　　時｜6月12日（日）午後2時30分～午後4時30分
司　　会｜平田剛志（美術批評）

公募部門
搬　　入｜6月5日（日）午後1時～午後5時
会場に直接搬入・展示（事前申込不要）
搬　　出｜6月12日（日）午後5時～午後7時
出 品 料｜1,000円
公募展への参加をご希望の方は、作品に出品料をそえて
搬入当日直接会場までお越しください。
出品規定など詳しくは別紙またはホームページまで。

会　場
茨木市立生涯学習センター
きらめきホール・ホワイエ・1階展示コーナー

大阪府茨木市畑田町1-43
JR総持寺駅：西へ約1.2km／JR茨木駅：北へ約1.5km
阪急茨木市駅：北西へ約2km
阪急バス：JR茨木駅・阪急茨木市駅から60・62系統乗車。
「中央図書館前」下車すぐ

主催｜茨木現代美術展実行委員会（茨木市・茨木現代美術の会）
問合せ先｜茨木市市民文化部文化振興課　TEL 072-620-1810

第49回現代美術ー茨木2022展は新型コロナウイルス感染症の影響により、変更・中止の可能性があります。開催の有無等は十分ご確認ください。

META // CONCEPTUAL

メタ // コンセプチュアル

アンデパンダン展と特集作家の2部門による現代美術の展覧会「現代美術ー茨木」が本年も開催される。第49回となる本年は、「メタコンセプチュアル」をサブタイトルに、葛本康彰、田中加織、安枝知美、わにぶちみきの4名が招待作家として展示する。

サブタイトルの「メタコンセプチュアル」とは、「超える」や「高次の」などを意味する接頭辞「メタ（meta）」と「概念」や「構想」を意味する「コンセプチュアル（conceptual）」を組み合わせた造語で、作家間の協議により決まったものだ。

抽象的な言葉だが、「メタ」とは、メタフィクションやメタデータ、近年注目されている仮想空間のメタバースなどのように、ジャンルや概念、情報、世界そのものを自己言及的に捉える視点である。

では、「メタコンセプチュアル」とは何か。それはコンセプチュアル・アートではなく、4作家が自身の構想や視点を高次に捉え、そのイメージの実現に向けて、独自の手法で制作する姿勢を意味する。

例えば、葛本康彰は人間の作為と自然現象の関係性をテーマに、素材の特性や自然現象を取り込んだ彫刻やインスタレーションによって、新たな知覚や認識をもたらす場を生み出す。

田中加織は、日本を象徴する富士山や山水、庭園など人工的な自然をモチーフにした幻想的でポップな風景画を描く。本展では、絵画と石を組み合わせたインスタレーションによって、人間の意識と石の形が変容してきた時間と存在を浮かび上がらせる。

安枝知美は、人の不安や悲しみ、嫌悪感など負の感情を視覚化した人物画を描く。そのタッチは感情的というより客観的で、日頃は隠されている負の感情をいかに絵画という肉体に定着するかの探究だ。

わにぶちみきは、「風景のなかにみた色を再現する」ため、風景の写真をモザイク加工して色を抜き出し、ドットで描く絵画だが、一見すれば抽象画だが、鑑賞者は絵画を見ることで画家の絵画制作を追体験することになる。

いずれも4作家たちは、自然や制作行為、絵画、風景とは何かを明確的に提示、それぞれの担く結論を独自の技法によって提出している。

その表現は多様で、共通性を見出すのは難しい。だが、作品には現実の再現とは異なる人間の意識や世界像など、新しい視点や価値観、感情が潜んでいるだろう。「メタコンセプチュアル」をキーワードに1つの展覧会全体を眺めたとき、そこに繋がになるものは何か。会場を見て歩き、読み解きたい。

平田剛志

KUDZUMOTO Yasuaki　葛本 康彰

1988 奈良生まれ
2012 京都教育大学教育学部 卒業
2014 京都精華大学大学院
芸術研究科博士前期課程 修了
2021年度平和堂財団芸術奨励賞受賞

作品制作を自分と外界（自然）との間に接点を生み出す行為と捉え、自然現象の意識を素材の特性によって定着することで、人間と自然の間わりのひとつの在り様として可視化しています。

近年の主な展覧会に2022年「Four Sequences」galerie36（京都）、「Four Silhouettes」Gallery一莽亭（京都）、「KYOTO ART LOUNGE EXHIBITION ベールの光景」COCON KARASUMA 2F アトリウム（京都）、2021年「WATOWA ART AWARD 2021 EXHIBITION」elephant STUDIO（東京）、「なにもないようでいい something like a phenomenon or nothing」大正製薬跡茶屋敷（滋賀）、「かたはらのものとことと something like a sculpture or nothing」不二画廊（奈良）、「現れる姿形　西川礼華・葛本康彰展」八日市文化芸術会館（滋賀）など。

「光の体積 / confront the shade3」　2022年　ミクストメディア（石、光、陰、他）　壁にインスタレーション

YASUEDA Tomomi　安枝 知美

1989 高知県生まれ
2015 京都市立芸術大学大学院
美術研究科修士課程
絵画専攻油画 修了

人の表情を描き、日常で感じた違和感や不安といった負の感情を視覚化する。

極端な悲しみの表情ではなく、目、鼻、口、首の大きさを、顔の肉付きに対して、少しずらしながら配置する。顔の前後関係を歪ませることで、不安な感情の表現を目指す。

近年の主な展覧会に2021年「展示 展をみている」GAMOYON Gallery（大阪）、2020年「人と物と風景」GAMOYON Gallery（大阪）、2019年「むこうの世界オープンスタジオ」アトリエかいで（京都）、2018年「毒の輪郭をさがす」ギャラリー崇仁（京都）など。

「表情」　2021年　油彩／キャンバス　910×727mm

TANAKA Kaori　田中 加織

1982 京都生まれ
2004 成安造形大学洋画科 卒業
2005 成安造形大学洋画研究生 終了

2021 個展「月と山水」
art spot korin 京都
2021「アートフェアアジア福岡 2021」
博多駅前
2021「精神の風景・○▲□」
HRD ファインアート 京都
2019 個展「月山水ナガルル」
新宿伊勢丹アートギャラリー 東京
2019「アート高雄 2019」台湾

象徴としての日本人の山・富士山（徳間山）や山水画（日本庭園）。そこから感じられる風景や空間から人の意識の形を浮き出そうとしています。モチーフである自然物がある種のアイデンティティーによってコントロールされ、決して手の届かない存在、また手を触れては ならない存在になり変わり、私達の意識を操り動かしていくと考えます。

「月山水 満月図No.2020.12」　2020年　油彩／キャンバス　1455×1120mm

WANIBUCHI Miki　わにぶち みき

1981 大阪府生まれ
2004 近畿大学文芸学部芸術学科
造形美術専攻 卒業
2012 英国ボーンマス芸術大学大学院
美術修士課程 修了
第27回ホルバイン・スカラシップ奨学生
（2012-2013）

風景画という絵画のいち形態を補綴として「風景のなかにみた色を再現する」というひとつの行為のみを選択し、その要素を「色をつくる（mix）」「塗る（paint）」「描写する（depict）」に分解、カトリビティクを制作している。絵画のなかで思考する絵画を目指しながら、その思考をなぞるように絵体験する観賞者に、答えを自ちもとめるということをあらためて感じてもらいたいと考えている。

近年の主な展覧会に2022年「ART for Art's Sake 7」Virtual Artists（仮想空間／ロンドン）、2021年「移顔のみおと」cumonos（大阪）、個展「REVIVE II」gekilin.（大阪）など。

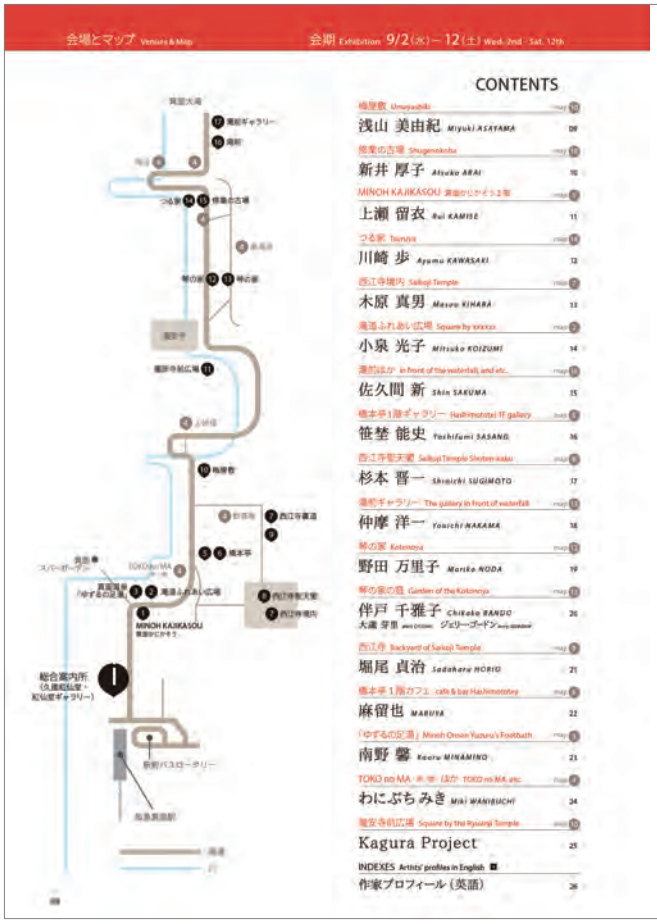
「"REVIVE" Offering my thanks 15-39 13/11/2019 (paint)」　2021年　アクリル／キャンバス　1300×1300×45mm

担当：展示会タイトルの考案、構成からデザインまで（地図作成、情報・写真素材は支給）　　製作期間：2週間
コンセプト：制作スタイルの違う4作家をまとめるキーワードを考案。中面はそれぞれの作品の特徴を捉えやすい可読性のあるデザインに。

担当：展示会タイトルの考案、構成からデザインまで（地図作成、情報・写真素材は支給）→フライヤー流用　　製作期間：2時間
コンセプト：制作スタイルの違う4作家をまとめるキーワードを考案。現役の現代美術作家の、今後もさらに斜め上をいく意識の持ち方をデザインした。

ロゴコンセプト：アーティスト×コミュニティー×箕面の地、このみっつが交差する（交わる）場が「箕面の森アートウォーク」であるということに焦点を合わせたロゴマークを作成。それぞれの色が影響し合い別の色を生み、そしてみっつすべてが重なるところにはどんな色が生まれるのか？ということを来場者に発見してもらうという意味を込めた。

担当：ロゴのリニューアル、情報の精査・構成からデザインまで（地図作成、写真素材は支給）　　製作期間：約1ヶ月
コンセプト：新ロゴのイメージ打ち出しと、コンセプトおよび作家の紹介にポイントを絞るため、シンプルなデザインをめざした。



担当：アーティストのページ20Pを、構成からデザインまで（地図作成と一部翻訳、写真素材は支給）　　製作期間：1ヶ月
コンセプト：作家の作品紹介にポイントを絞るため、極力デザイン要素を省いた可読性のあるシンプルなデザインで制作。

つる家 Tsuruya　展示 Exhibition map 14

「スロウン立面」 2012 Dancebox / 神戸 ダンス作品 30 分 Ah Wander-Brown 2012 Dancebox, Kobe Dance piece 30min (世界初公演)

「つる家」さんと、私のガラス玉 *Tsuruya and my glass balls*

箕面の滝に向かって、渓谷を ちょうど半ばあたりまで登っていった所に、とても素敵な食堂がある。「お食事処「つる家」さんだ。入口口には一見シンプルだが、なにやら放っておけない魅力をもった高級工が複数展示してある。お店の内部も、食事をいただくところ、だけではおさまらない不思議な魅力を隠 に感じる。店主の藤本さんは、私が初めて店を訪れた時に、店のテーブルでちょうど幕の加工をされていた。そのあと、注文したそばを作りに奥の厨房に入っていかれた時に、私は、ああ、もの作りのアトリエ風、食堂って素敵だなと思った。

上手く言葉にできないが「つる家」さんに対して私が感じる魅力の一端は、食堂という現在進行形の状況と、箕面という場所のエッセンスが凝縮されたかのようなお店の展示物 と、、現在 具合にあるのではないかと考える。私は、藤本さんにお話を伺い、食事をいただき、お店の展示物に私の制作物を少し加えさせていただくことで、その魅力の本質にできるだけ近づきたいと思っている。

This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year.

川崎 歩
Ayumu KAWASAKI

2001　身体表現・パフォーマンスを模索し始める
1998　京都精華大学美術学部造形学科絵画専攻卒業

主なパフォーマンス
2009 ～現在 「どうぐっ」（立体ギャラリー新手間／奈良、日本庁所在之生糸産業所／神戸、他）
2011 ～ 2012 「とがらっ広場」（dancebox／神戸、京都芸術センター／京都）
2008 ～ 2011 「回遊」（または 80 年代のスピンバーグと私）（BAFT／東京、新潟ビブ／横浜、他）
2007 ～ 2008 「ためいけ」（神戸アートビレッジセンター／神戸、森スタジオ／東京、他）

主な展覧
2006　「ラストシーンは涙に」（大阪市立大学医学部付属病院内／大阪）
　　山崎修 作品集 （神戸スタジオ 1024／京都）
2000　remoto-cenos （陽の部ギャラリー／東京）

主なグループ展
2006　コイブル・アートリンク 2006 （大阪国際交流センター／大阪）
2004　ゲーニーズ （京橋竹ギャラリー／京都）
2003　さんだいアートプロジェクト 2003 （さんだいメディアテーク／仙台）

■ Refer to the indexes from p.26 for artists' profiles in English.

「ためいけ」 2007
H200xW200mm offset print
The Reservoir 2007

「どうぐっ」 2009
ギャラリー新手間／京都ダンス作品 40min
The Cave 2009
gallery ITEZA, Kyoto Dance piece 40min

12

西江寺 Saikoji Temple　展示 Exhibition map 7

「ことば拾い」 2015 H80xW80xD80mm 石にアクリル *kotoba hiroi* 2015 H80xW80xD80mm Acrylic on stone

ことば拾い（kotoba hiroi） *Picking words up.*

白い紙に「そら」と書くとたちまち青く広がとした空間が脳裏に浮かぶ。
ことばはイメージを発起する力を持っている。
ことばは強いたえず強に空が雲に覆われたとしても「ひかり」とつぶやけば輝く日の光が心の中を満たすだろう。
今回私はことばを現実の三次元空間に置きたいと考えた。
ことばは文字として空間に定着される。
具体的には一個の石に一字（ひらがな）を描き、その石を屋外の様々な場所に置く。
ことばは石ころに結晶し、西江寺の境内の様々な場所に出現することになる。
ことば拾いを楽しんでください。

This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year. This is a dummy text, which explains about what the artist thinks when they make their artwork for Minoh no Mori Artwalk this year.

木原 真男
Masao KIHARA

1951 年生まれ

個展
2010　コンテンポラリーアート・ギャラリー Zone（箕面／大阪）
2003 ～ 2002 ～ 2004 ～ 2006 ～ 2008　ゲストハウス（Guesto House）（神戸）
1999　シティギャラリー（City）（大阪）
1992 ～ 1994 ～ 1996　喜楽館（大阪）
1990 年より作品発表
など

グループ展
2012　空蝉と明（les mots et les choses）
2009　かくされた現実と、目に見 ぬ表現 展
1996 ～ 1998　CONSTELLATION（星にかけるまこと 入江陽子 木原真男）
など

■ Refer to the indexes from p.26 for artists' profiles in English.

「彩の海」 2006 H360xW600mm
The water of serpent 2006 H360xW600mm

13

INDEXES

Miyuki ASAYAMA
Selected Solo Exhibitions: 2014 Overlapping landscape, LADZ Gallery (Osaka) 2012 Border, Mugen (Osaka) 2011 Wine Cork Project, Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) 2009 Haven, Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) 2003 Hanane Project, HANARE (Hyogo) 1998 Germination, Self-so Art Gallery (Osaka) **Selected Group Exhibitions:** 2014 Kizugawa Art (Kizugawa/Kyoto) 2013 Minoh no Mori Artwalk (Minoh/Osaka) 2012 Ibaraki Music Festival, Ibraki Shrine Art Site (Ibaraki/Osaka) 2011 Minoh no Mori Artwalk (Minoh/Osaka) 2006 Wraju/Itami Art Museum (Itami/Hyogo) 1995 Kobe Contemporary Music Festival, Art Site (Kobe/Hyogo)

Atsuko ARAI
Born in Kyoto in Japan. Studied sculpture at the Massana school in Barcelona. I experienced several Artis in Residence in Europe and Japan. I work about public art relating to the people and culture in the area, having many participatory projects.
Selected Solo Exhibitions: 2010 CoCoGa Museum of Art, Contemporary Art Gallery Zone (Osaka) / Sagrada Familia Culture center (Barcelona) 2007 When in Finland do as the Finns do?, HAP Project Room (Helsinki/Finland) 2005 Aitoehulla en Altahulla, Tarragona Museum of Modern Art 2002 Around the World in Madrid, Gallery Moriarty/Basque Museum of Photography **Selected Group Exhibitions:** 2013 Sota Fundara de llogatinrinsi, ACVic Contemporary Arts Centre Vic 2011, 2013 Minoh no Mori Artwalk (Minoh/Osaka) 2012 TPK Artistes residents L'Hospitalet Museum, L'Harmonie 2006 Echigo-Tsumari Art Triennial (Niigata) 2003 Vernacular Spiki (Aomori Contemporary Art Center) **Selected Awards, Grants and Artist in residence:** Fundación Marcelino Botín, UNESCO – ASCHBERG, Aomori Contemporary Art Center, Art Omi International Arts Center, Nueva York, EEUU, Nomura Cultural Foundation, Generalitat de Catalunya

kumiserui
Graduated from Osaka University of Arts, Art Planning. Kamiserui works as an installation artist. She incorporates two dimensional art forms, drawings, photo collage and found or created objects including her body. Takes all together, these works mean to "express relationships between what I am and what I am not."
Solo Exhibitions: 2014 in a home, GALLERY wks. (Osaka) 2013 sweet home, ART FESTIVAL HANARART 2013 MORE (Nara/Japan) 2012 Suggestion, GALLERY wks. (Osaka)
Group Exhibitions: 2014 The world is progressing without my permission, ART FESTIVAL HANARART 2014 Plus (Nara) PRISM2014, Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) Japan Electroacoustic Music Concert, The National Museum of Art (Osaka) 2013 WHEREABOUTS of BORDERLESS, NAMBA PARKS ART PROGRAM vol.9 (Osaka) Latest Yutori Style, GALLERY Ruru (Osaka)

Ayumu KAWASAKI
2001 Began to explore dance and performance. 1998 Kyoto Seika University - BFA print making.
Major Works / Performance: 2009 ～ present The Cave, gallery ITEZA (Kyoto, KIT/Kobe) 2011 ～ 2012 Mr.Wander-Brown (DanceBox/Kobe, Kyoto Art Center/Kyoto) 2008 ～ 2011 The Cloister-Spielberg and I in the 80's (BAFT/Tokyo, Shinko Pier/Yokohama) 2007 ～ 2008 The Reservoir (Kobe Art Village Center/Kobe, Morishita Studio/Tokyo) **Solo Exhibitions:** 2006 Ride the Ferry at las1 scene, Osaka City University Hospital (Osaka) Ayumi Kawasaki Video Works, Eizou Studio1928 (Kyoto) 2002 remoto-cenos, Fujinoma Gallery (Tokyo) **Group Exhibitions:** 2006 AbleartLink 2006, Osaka International House Foundation (Osaka) 2004 The Goonies, Douji(ai Gallery (Kyoto) 2003 Sendai Art Annual 2003, Sendai Media Theque (Sendai)

Masao KIHARA
Born in 1951
Solo Exhibitions: 2001 Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) 2000 • 2002 • 2004 • 2006 • 2008 Guesto House (Kobe) 1999 City Gallery (Osaka) 1992 • 1994 • 1996 • 1998 Ber Garow (Osaka) 1990 Osaka Contemporary Art Center (Osaka) **Group Exhibitions:** 2012 The Order of Things (les mots et les choses) 2000 "Gaze to be uncovered" Shin Taniguchi and Masao Kihara Exhibition 1996 ～ 1998 CONSTELLATION Exhibition (Masako Ogawa ,Yoko Irie, Masao Kihara)

Mitsuko KOIZUMI
1960 Born in Tokyo, JAPAN 1980 Osaka Music Junior College 1989 Yoshihara Ikyo Art Competition 1991 Ashiya City Art Exhibition/1st Prize 1984 ～ 2012 57 Solo Exhibitions (Osaka, Hyogo, Tokyo / International Exchange Exhibitions (Hawaii, Seoul, Paris, Brazil) / Group Exhibitions (Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Tokyo, Kanagawa, Miyagi, Fukui, Fukushima, Mie)
Recent Exhibitions (2012 ～ 2015): 2014 ～ 2015 Tokoyosito art class exhibition, Osaka Univ. of Economics Gallery (Osaka) 2010, 11, 13 Minoh no Mori Artwalk, Hashimototei/Moria Park Insects Museum (Minoh/Osaka) 2014 Solo Exhibition "the Duality of Life", Street Gallery (Hyogo) Solo Exhibition "Heart Market", Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) Solo Exhibition "Color Combination Tells An Affair vol.16", Amano Gallery (Osaka) The Art Session Part 1, Gallery Kiku (Osaka) "An Impurity Art", Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) 2013 Solo Exhibition, Atelier 2001 (Hyogo) Solo Exhibition "Color Combination Tells An Affair vol.16", Amano Gallery (Osaka) Calendar for 2014, Art Space Niji (Kyoto)

Shin SAKUMA
Education: Sep 1991 Left without graduating Osaka University, Faculty of Literature, Major Aesthetics Aug1995 - July 1998 Indonesia Institute of the Arts, Yogyakarta, Faculty of Performing Arts (on the Indonesian Government Scholarship) non degree program
Important Choreography and Stages: "Tropical Music Festival for Children in Osaka", Musical Director: Shin Sakuma, Makoto Nomura, Takashi Kojima, Yoshikide Otomo, (2012). World Premier at the Tanaka Memorial Hall, Osaka in 2012. "Umareru 'Birth', Music Director: Jerry Gordon, Dance Director: Shin Sakuma, (2011). World Premier at the Ashiya Art Museum, Hyogo in 2011. "Sanzui", Composer: Shin Sakuma, Choreography: Shin Sakuma, (2009). World Premier at the Osaka City Central Public Hall, Osaka in 2009. "For Gender", Composer: David Kotkowy, Choreography: Shin Sakuma, (2008). World Premier at the Space-Ten, Osaka in 2008. "Ar-no-Sanka (Tuvai Song-", Composer: Misao Masahito, Choreography: Shin Sakuma, (2007). World Premier at the Phoenix Hall, Osaka in 2007. "Ke-Za-Fo", Compose: Akio Suzuki, Choreography: Shin Sakuma, (2007). World Premier at the Phoenix Hall, Osaka in 2007. "Sea Thomas", Music Director: Makoto Nomura, Dance Director: Shin Sakuma, (2005-2006). World Premier at the Chikko Akarenga Warehouse, Osaka in 2005. "Momotaro - Gamelan Theatre Peach Boy", Compose: Makoto Nomura, Choreography: Shin Sakuma, (2001-2005). World Premier at the Phoenix Hall, Osaka in 2001. Activities Abroad: "Creative Music Festival for Children", (2010,2011,2012). Workshop and Concert in Indonesia. Grant: Osaka City University Urban Research Center, Garuda Indonesia "Solo Ethnic Music Festival", (2009). Workshop, Concert and Forum in Indonesia. Grant: Solo Ethnic Music Festival I-Picnic Concert in Europe, (2009). Concert and Workshop in Hungary and Austria. Grant: Japan Foundation, Klangraum Krems Minoritenkirche. Margasari Concert in Indonesia, (2008). Grant: Japan Foundation. I-Picnic in Europe, (2007). Concert and Workshop in United Kingdom and Austria. Grant: Edinburgh University, Klangraum Krems Minoritenkirche. I-Picnic Concert in Indonesia, (2005). Grant: Arts Network Asia.

Yoshifumi SASANO
1954 Born in Hyogo. Graduated from Osaka Kyoiku University, Fine Arts.
Selected Solo Exhibitions: 2015 reflection2, Gallery Tefukin (Hyogo) 2013 Will it be strange again tomorrow?, Gallery H.O.T (Osaka) 2011 reflection, Gallery H.O.T (Osaka) 2009 commuter ring, Gallery H.O.T (Osaka) 2008 snuffing horse, Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) **Selected Group Exhibitions:** 2014 Zone Theme Exhibition, Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) ['13 '12] TAKARAZUKA ART Ten ~ Ten, TAKARAZUKA BUNKA SOUZOUKAN (Hyogo) ['13 '12] 2013 gallerium Art Cruising, KEIHAN CITY MALL (Osaka) ['06] 2012 ZINE book gallery, Takarazuka Media Library (Hyogo) 2010 The Takimichi Marugoto Museum, Hashimototei (Minoh/Osaka) ['09] 2008 P&E, Art court gallery (Osaka)

Shinichi SUGIMOTO
Selected Exhibitions: 2015 The Chee Chee Art Project (San Diego, CA, U.S.A) KANHIKARI ART EXPO (Kodaiji Temple ~ Higashi Honganji Kikoku-Tei/Kyoto, Kenchō-ji/Kamakura) 2014 Amagasaki Art Festival 2012, Amagasaki Cultural Center (Hyogo) ['11 '12] KANHIKARI ART EXPO (Sennyū-ji/Kyoto, Kenchō-ji/Kamakura) 2013 CONTEMPORARY ART - IBARAKI 2012 EXHIBITION (Selected Featuring Artists), Ibaraki City Lifelong Learning Center (Osaka) ['12] Speculation of Forest in Minoh no Mori Artwalk, Hashimototei (Minoh/Osaka) CITY OF GRAVITY - KIIN SEIDO -, WHITE BOX CONTEMPORARY (San Diego, CA, U.S.A) 2010 "a series of shows of artist's proposals Vol.1 CITY OF GRAVITY - Sugimoto Shinichi -", Asago Art Park Museum (Hyogo) 2008 KYOTO Art BIENNALE (Prize of the Sankei Shimbun?), The Museum of Kyoto (Kyoto) 2007 KAKU-TUSHIN Exhibition HYOGO Prefectural Art Museum ['08 '09 '10] KUMAGAI MORIKAZU Grand Prize Exhibition (Fine work Prize?), Art Peer TSURUCHI Plaza (Gifu) 2006 ASAGO BIENNALE (Second Prize?), ASAGO ART VILLAGE (Asago/Hyogo) ['08~10] 1985 Kaku-Tsuchin Tenjoira Museum Exhibition, Shukugawa Park (Hyogo) ['82] 1978 Solo Exhibition, Gallery 16 (Kyoto) ['81 '82 '85 '88 '90 '04 '06 '13] 1977 Solo Exhibition, Shimanobashi Gallery (Osaka) 1975 Kyoto ANDERENDAN exhibitions, Kyoto Municipal Museum of Art (Kyoto) ['79 '80 '81], and many others.

Youichi NAKAMA
1977 Born in Kyoto, Japan 2002 Graduated from Kyoto City University of Arts.
Selected Solo Exhibitions: 2014 - resonance -, Gallery Den mym (Kyoto) 2013 - inside the forest -, Contemporary Art Gallery Zone (Osaka) 2012 Youichi Nakama exhibition, O gallery eyes (Osaka) 2011 - water mirror -, GALLERY Aoi-Ranoko (Osaka) 2010 Youichi Nakama exhibition, GALLERY echo-ann (Tokyo) Youichi Nakama exhibition, 2kw gallery (Osaka) **Selected Group Exhibitions:** 2015 Visual Sensation vol.6 (Youichi Nakama, Yukiko Nakamichi, Tomonari Nakayashiki, Satoko Matsui, Yuya Matsumoto, Yuki Miyazaki), Gallery Den mym (Kyoto) 2014 Nature Explored: Interpretations of Japanese Landscapes featuring Kaori Tanaka, Youichi Nakama, and Shuichi Hashimoto, Japanese Friendship Garden (San Diego/US)
artist's official website: http://youichinakama.jimdo.com/

Marika NODA
1985 Born in Saga. 2009 Graduated from Kyoto City University of Arts, Faculty of Fine Arts, Painting.
Selected Solo Exhibitions: 2014 Marika Noda solo exhibition, GALLERY Circle (Saga) 2013 HOPE, TEZUKAYAMA GALLERY (Osaka) 2010 Fixation, TEZUKAYAMA GALLERY (Osaka)
Selected Group Exhibitions & Art Fairs: 2014 ART FESTIVAL HANARART Plus, former Hoshino beauty salon (Yamato Koriyama/Nara) PRISM 2014, Contemporary Art Gallery Zone (Minoh/Osaka) The Space The Land, Nara Prefecture Complex of Man'yo culture (Artist in Residence/Nara) 2013 Young Art Taipei, Sheraton Grande Taipei Hotel (Taipei) 2012 Colors let viewer's memories awake, ART FESTIVAL HANARART, former Kawamato House (Yamato Koriyama/Nara) ART FAIR TOKYO 2012, Tokyo International Forum (Tokyo), and many others.

Chikako BANDO
Major Works: 2015 "Sound not to hear" (Osaka) 2014 "invisible things" (Kyoto) "Orina-golo (Soliloquy of the women)" (Coproduction with the musician) (Kyoto) "Asian Women" (Kyoto) "Counterfeit Atamayamadft. Head)" (Osaka) 2013 "Minus", Minoh no Mori Artwalk 2013 (Minoh/Osaka) "no face" (Osaka) "Kumonoito (the spider's thread)" (Coproduction with the musician) (Kyoto) "Hifunosida (between the skin)" (Osaka) "The Dance of the Moon" (Kyoto) 2012 "pencarian" (Coproduction with the Balinese dancer) (Bali/Indonesia)

Meri OTOSHI
Meri Otoshi started her classic ballet career at Arima Ballet Studio and then graduated from Showa Academia Musicae Ballet Department and currently dances street jazz at clubs and for commercials. Between 2005 and 2010, she toured with Vincent Mantesse. She graduated from Centre National de Danse Contemporaine d'Angers and her video works have been shown in theaters in eight countries. Last year, she participated in Setouchi Circus Factory and International Theater Festival for Young Audiences. Sometimes, she is an instructor or an assistant for workshops and is currently expanding her creativity into other fields.

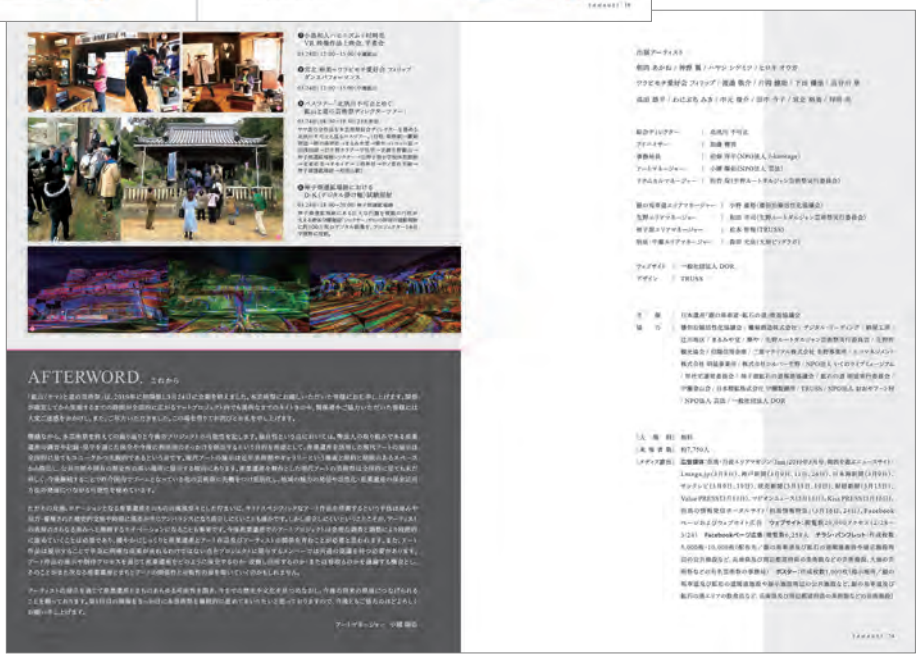
Jerry GORDON
Jerry Gordon is an improvising musician. He performs solo and with various other Kansai area artists. He runs MIT House in Osaka, a venue for sound and dance.

Sadaharu HORIO
A former member of the Gutai. As Horio participates over 100 solo and group exhibitions annually, this list is limited to the more major events.
2015 "Sadaharu Horio", Axel Vervoordt Gallery (Hong Kong.) "Atarimae no koto [Things at that time]", Gallery Acanthus (Minoh/Osaka) 2014 "Atarimae no koto (Now)" (BB Plaza Museum of Art/Kobe, Contemporary Artspace/Lille, France) "Sadaharu Horio, Atarimae no koto", Kanbaysgarden (Gotland/Sweden) 2013 "Gutai: Splendid Playground", Guggenheim Museum (New York) "Atarimae no koto", Minoh no Mori Artwalk 2013 (Minoh/Osaka) 2012 "Explosion! Painting as Action", Modern Museum (Stockholm/Sweden) 2011 "Frankfurter Positionen 2011" (Frankfurt/Germany) "Sadaharu Horio", published by Axel Vervoordt 2005 "Yokohama Triennale 2005" (Yokohama) 2003 "Museum of the Air at Hyogo Canal (Kobe) 2002 Sadaharu Horio Solo Exhibition "Atarimae no koto", Ashiya City Museum of Art and History (Hyogo) 1983 Begins to work on the series "Atarimae no koto (A matter of Course)" 1965 Shows first work with Gutai. Continues to show with the group until its breakup. 1939 Born in Kobe City.

26　　27

担当：アーティストのページ20Pを、構成からデザインまで（地図作成と一部翻訳、写真素材は支給）　　製作期間：1ヶ月
コンセプト：作家の作品紹介にポイントを絞るため、極力デザイン要素を省いた可読性のあるシンプルなデザインで制作。

担当：冊子の制作企画・編集・進行管理から、デザイン・校正・印刷手配まで（地図・写真素材・テキストは支給）　　製作期間：3ヶ月
コンセプト：作家の作品紹介とともに、開催地の歴史やストーリもしっかり盛り込んだ。写真の良さを活かしたデザインに。



担当：冊子の制作企画・編集・進行管理から、デザイン・校正・印刷手配まで（地図・写真素材・テキストは支給）　　製作期間：3ヶ月
コンセプト：作家の作品紹介とともに、開催地の歴史やストーリもしっかり盛り込んだ。写真の良さを活かしたデザインに。

担当：冊子の制作企画・編集・進行管理から、デザイン・校正・印刷手配まで（地図・写真素材・テキストは支給）　　製作期間：3ヶ月
コンセプト：作家の作品紹介とともに、開催地の歴史やストーリもしっかり盛り込んだ。写真の良さを活かしたデザインに。